

【必修領域講習】全ての受講者が受講する領域

講習の名称	教育の最新事情C（北部会場）
講習の概要	<p>本講習では、教職キャリアにおけるさらなる職能開発の契機として講習を位置づける。すなわち、教員免許状を引き続き保有するに値する資質や力量を持つことを確認するための最新情報の伝達といった消極的なものに留まらず、受講者の豊かな教職経験を重要な教育資源と捉え、デマンドサイドに対応した講習を実施する。グループワーク等を用いて、受講者自身の振り返りと教職像の再構築を促すことで、学びつづける教員への支援となることを意図している。</p> <p>【内外の教育政策の動向】 国の教育政策の動向を、例えば国の審議会の動向、学習指導要領の改訂のようなトピックを取り上げ分析的に理解するとともに、諸外国の教育改革の基本的動向について、例えば学力向上政策や教育行政のようなトピックを取り上げ理解を深める。</p> <p>【教育基礎論】 こども観、教育観、教育的愛情その他教員に対する社会的要請について、さまざまな職歴をもつ教員同士が討議しあうことで、これまでの経験を振り返り今後の教育実践を展望する。</p> <p>【子どもの発達に関する心理学的知見と特別支援教育】 子どもの発達に関する心理学等における近年の知見や、主としてLD、ADHD等の発達障害のある子どもの理解の仕方と対応及び近年の特別支援教育の取組について理解する。</p> <p>【生活の変化を踏まえた生徒指導論】 不登校やいじめ、暴力など、今日の子どもたちの姿と課題及び子どもたちの変化を踏まえた生徒指導の方向性やカウンセリングマインドに基づく教育相談の方法について理解する。</p>
履修認定試験問題等	「この講習を受けて、どのようなことを理解し、また考えましたか。さらに、それらを今後の教育実践にどのように活かそうと思いますか。」
評価方法	40分間の筆記試験
評価の観点等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 論理（論理的でかつ読みやすく記述されているか）</li> <li>2. 理解・思考（講習内容が踏まえられとともに、受講者自身の理解や把握が明確に示されているか）</li> <li>3. 実践意欲・展望（これからの教職生活に臨む上での実践上の指向や態度が明確か）</li> </ol>
開催日	2021年 7月 31日（土） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	48名
会場	市民交流プラザふくちやま（京都府福知山市）
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 特に無し</p> <p>注意事項： 特に無し</p> <p>その他： 特に無し</p>

【必修領域講習】全ての受講者が受講する領域

講習の名称	教育の最新事情C（北部会場）
担当講師	相澤 雅文（総合教育臨床センター教授(現職)）
	伊藤 悦子（教育学部教授（現職））
	牛山 道雄（教育学部准教授（現職））
	村上 登司文（教育学部教授（現職））
	片山 紀子（大学院連合教職実践研究科教授（現職））
	神代 健彦（教育学部准教授(現職)）
	小谷 裕実（教育学部教授（現職））
	佐藤 克敏（教育学部教授（現職））
	佐藤 美幸（教育学部准教授(現職)）
	高柳 真人（教職キャリア高度化センター教授（現職））
	田爪 宏二（教育学部准教授(現職)）
	竺沙 知章（大学院連合教職実践研究科教授（現職））
	徳岡 慶一（教育学部教授（現職））
	徳永 俊太（大学院連合教職実践研究科准教授(現職)）
	西村 佐彩子（教育学部准教授（現職））
丸山 啓史（教育学部准教授（現職））	

【必修領域講習】全ての受講者が受講する領域

講習の名称	教育の最新事情A
講習の概要	<p>本講習では、教職キャリアにおけるさらなる職能開発の契機として講習を位置づける。すなわち、教員免許状を引き続き保有するに値する資質や力量を持つことを確認するための最新情報の伝達といった消極的なものに留まらず、受講者の豊かな教職経験を重要な教育資源と捉え、デマンドサイドに対応した講習を実施する。グループワーク等を用いて、受講者自身の振り返りと教職像の再構築を促すことで、学びつづける教員への支援となることを意図している。</p> <p>【内外の教育政策の動向】 国の教育政策の動向を、例えば国の審議会の動向、学習指導要領の改訂のようなトピックを取り上げ分析的に理解するとともに、諸外国の教育改革の基本的動向について、例えば学力向上政策や教育行政のようなトピックを取り上げ理解を深める。</p> <p>【教育基礎論】 こども観、教育観、教育的愛情その他教員に対する社会的要請について、さまざまな職歴をもつ教員同士が討議しあうことで、これまでの経験を振り返り今後の教育実践を展望する。</p> <p>【子どもの発達に関する心理学的知見と特別支援教育】 子どもの発達に関する心理学等における近年の知見や、主としてLD、ADHD等の発達障害のある子どもの理解の仕方と対応及び近年の特別支援教育の取組について理解する。</p> <p>【生活の変化を踏まえた生徒指導論】 不登校やいじめ、暴力など、今日の子どもたちの姿と課題及び子どもたちの変化を踏まえた生徒指導の方向性やカウンセリングマインドに基づく教育相談の方法について理解する。</p>
履修認定試験問題等	「この講習を受けて、どのようなことを理解し、また考えましたか。さらに、それらを今後の教育実践にどのように活かそうと思いますか。」
評価方法	40分間の筆記試験
評価の観点等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 論理（論理的でかつ読みやすく記述されているか）</li> <li>2. 理解・思考（講習内容が踏まえられとともに、受講者自身の理解や把握が明確に示されているか）</li> <li>3. 実践意欲・展望（これからの教職生活に臨む上での実践上の指向や態度が明確か）</li> </ol>
開催日	2021年 8月 18日（水） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	120名
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 特に無し</p> <p>注意事項： 特に無し</p> <p>その他： 特に無し</p>

【必修領域講習】全ての受講者が受講する領域

講習の名称	教育の最新事情A
担当講師	相澤 雅文（総合教育臨床センター教授(現職)）
	伊藤 悦子（教育学部教授（現職））
	牛山 道雄（教育学部准教授（現職））
	村上 登司文（教育学部教授（現職））
	片山 紀子（大学院連合教職実践研究科教授（現職））
	神代 健彦（教育学部准教授(現職)）
	小谷 裕実（教育学部教授（現職））
	佐藤 克敏（教育学部教授（現職））
	佐藤 美幸（教育学部准教授(現職)）
	高柳 真人（教職キャリア高度化センター教授（現職））
	田爪 宏二（教育学部准教授(現職)）
	竺沙 知章（大学院連合教職実践研究科教授（現職））
	徳岡 慶一（教育学部教授（現職））
	徳永 俊太（大学院連合教職実践研究科准教授(現職)）
	西村 佐彩子（教育学部准教授（現職））
丸山 啓史（教育学部准教授（現職））	

【必修領域講習】全ての受講者が受講する領域

講習の名称	教育の最新事情B
講習の概要	<p>本講習では、教職キャリアにおけるさらなる職能開発の契機として講習を位置づける。すなわち、教員免許状を引き続き保有するに値する資質や力量を持つことを確認するための最新情報の伝達といった消極的なものに留まらず、受講者の豊かな教職経験を重要な教育資源と捉え、デマンドサイドに対応した講習を実施する。グループワーク等を用いて、受講者自身の振り返りと教職像の再構築を促すことで、学びつつける教員への支援となることを意図している。</p> <p>【内外の教育政策の動向】 国の教育政策の動向を、例えば国の審議会の動向、学習指導要領の改訂のようなトピックを取り上げ分析的に理解するとともに、諸外国の教育改革の基本的動向について、例えば学力向上政策や教育行政のようなトピックを取り上げ理解を深める。</p> <p>【教育基礎論】 こども観、教育観、教育的愛情その他教員に対する社会的要請について、さまざまな職歴をもつ教員同士が討議しあうことで、これまでの経験を振り返り今後の教育実践を展望する。</p> <p>【子どもの発達に関する心理学的知見と特別支援教育】 子どもの発達に関する心理学等における近年の知見や、主としてLD、ADHD等の発達障害のある子どもの理解の仕方と対応及び近年の特別支援教育の取組について理解する。</p> <p>【生活の変化を踏まえた生徒指導論】 不登校やいじめ、暴力など、今日の子どもたちの姿と課題及び子どもたちの変化を踏まえた生徒指導の方向性やカウンセリングマインドに基づく教育相談の方法について理解する。</p>
履修認定試験問題等	「この講習を受けて、どのようなことを理解し、また考えましたか。さらに、それらを今後の教育実践にどのように活かそうと思いますか。」
評価方法	40分間の筆記試験
評価の観点等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 論理（論理的でかつ読みやすく記述されているか）</li> <li>2. 理解・思考（講習内容が踏まえられとともに、受講者自身の理解や把握が明確に示されているか）</li> <li>3. 実践意欲・展望（これからの教職生活に臨む上での実践上の指向や態度が明確か）</li> </ol>
開催日	2021年 8月 20日（金） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	120名
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 特に無し</p> <p>注意事項： 特に無し</p> <p>その他： 特に無し</p>

【必修領域講習】全ての受講者が受講する領域

講習の名称	教育の最新事情B
担当講師	相澤 雅文（総合教育臨床センター教授(現職)）
	伊藤 悦子（教育学部教授（現職））
	牛山 道雄（教育学部准教授（現職））
	村上 登司文（教育学部教授（現職））
	片山 紀子（大学院連合教職実践研究科教授（現職））
	神代 健彦（教育学部准教授(現職)）
	小谷 裕実（教育学部教授（現職））
	佐藤 克敏（教育学部教授（現職））
	佐藤 美幸（教育学部准教授(現職)）
	高柳 真人（教職キャリア高度化センター教授（現職））
	田爪 宏二（教育学部准教授(現職)）
	竺沙 知章（大学院連合教職実践研究科教授（現職））
	徳岡 慶一（教育学部教授（現職））
	徳永 俊太（大学院連合教職実践研究科准教授(現職)）
	西村 佐彩子（教育学部准教授（現職））
丸山 啓史（教育学部准教授（現職））	

【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習の名称	学校という組織を考える（北部会場）
講習の概要	<p>学校教育は公共的事業として内容の体系性や透明性があらかじめ求められる一方、幼児・児童・生徒などの様子や場の状況によって、授業や生徒指導の最前線でこそ決まる曖昧なものでもある。こうした、組織でありながら必ずしも「合理的」とは言えない学校の不思議さ、そこで働くことの困難ややりがいを、参加者の振り返りを通じて確かめるとともに、「いい学校」の条件はどのようなものか、またそれはいかに可能かを一緒に考えたい。</p> <p>※本講習は、講習中に受講者同士のグループワークを行います。</p>
履修認定試験問題等	本講習で知った、考えた、議論したことはどのようなことですか。また、それらを踏まえて、今後の教育実践や学校経営にどのように臨みたいですか。
評価方法	講習の最後部に30分間の記述式試験を行います。
評価の観点等	講習の内容が示されるとともに、論理的な記述となっているか、また今後の教職生活の展望が述べられているか。
担当講師	榊原 禎宏（教育学部教授（現職））
開催日	2021年8月1日（日） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	48名
学校種	幼,小,中,高,特支
免許職種、教科等	特定しない
会場	市民交流プラザふくちやま（京都府福知山市）
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物：可能な方は勤務校の『学校要覧』</p> <p>注意事項：特になし</p> <p>その他：特になし</p>

【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習の名称	道徳教育をめぐる理論・実践・評価
講習の概要	<p>道徳の教科化を契機に、学校における教育活動全体での道徳教育をめぐる対応が重要視され注目されている。本講習では、現代的な問題として、道徳教育に対する発達段階に即した考え方や教材開発などについて、近年の研究成果もふまえながら、指導案の作成等を通じて参加者とともに考えていくことをねらいとする。受講によって、理論的にも実践的にも新しい変化に迅速に対応できる体制を整えることをめざす。</p> <p>※本講習は、講習中に受講者同士のグループワークを行います。</p>
履修認定試験問題等	「発達段階を考慮したうえでの道徳教育や道徳科の授業について、受講者自身の校種ではどのような点に配慮すべきだと考えますか。本講習によって得た知見等をふまえながら論じてください。」
評価方法	終了時に試験時間30分程度の論述試験（A4版1枚）を行います。
評価の観点等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.論理性（論理的かつ説得力をもって記述されているか）</li> <li>2.理解・思考（本講習内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか）</li> <li>3.実践意欲・展望（実践的な関心や意欲や態度が明瞭に記述されているか）</li> </ol>
担当講師	相澤 伸幸（教育学部教授（現職））
開催日	2021年 8月 18日（水） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	50名
学校種	幼,小,中,高,特支
免許職種、教科等	特定しない
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物：グループワーク（学校種ごとのグループ）で時間内に指導案を作成します。そのときの教材・資料としますので、教科書や各自がこれまで作成した指導案や教材など（紹介できるもの）のコピーを必ずご持参ください。グループの人数（5部）分のコピーを当日持参していただければスムーズに進行できます。</p> <p>注意事項：各自、新しい学習指導要領を確認しておいてください。</p> <p>その他：小中学校の先生は、各学校で使用している道徳科の教科書や教材などを持参していただくと、午後のグループワークが充実します。</p>

【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習の名称	新学習指導要領における小学校外国語活動と外国語（英語）の指導と評価
講習の概要	<p>小学校英語（中学年「外国語活動」・高学年「英語」）に関して、第二言語習得等の理論、Let's Try! あるいは検定教科書の活用法、small talk、指導法（歌・チャンツ・絵本・コミュニケーション活動など）、文字指導、CLIL、Can-Do評価とパフォーマンス評価などについて理論と実践を往還する講義およびワークショップを行います。小中高の教育連携の観点から中学校、高等学校の英語科教諭も対象とします。</p> <p>本講習は、講習中に受講者同士のペアワーク・グループワーク等を行います。</p>
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。持ち込み不可。
評価の観点等	<p>1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか）</p> <p>2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか）</p> <p>3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</p>
担当講師	<p>西本 有逸（教育学部教授（現職））</p> <p>染谷 藤重（教育学部講師（現職））</p>
開催日	2021年 8月 19日（木） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	55名
学校種	小,中,高
免許職種、教科等	小学校・中学校（英語）・高等学校（英語）教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 特になし</p> <p>注意事項： 特になし</p> <p>その他： 特になし</p>

【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習の名称	反転研修 カリキュラム・マネジメント
講習の概要	<p>本学が指定する「先生を究めるWeb動画」を2本視聴し、7/28（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。</p> <p>対面講習では、受講生が事前に視聴したWeb講義をもとに、カリキュラム・マネジメントを進める際の具体的な工夫について検討することを通して、カリキュラム・マネジメントとは何かに関する理解を深める。</p> <p>本講習は、講習中に受講者同士のグループワークを行います。ただし、新型コロナウイルス感染症対策の状況によって変更する場合があります。</p>
視聴すべき2本の動画	<p>カリキュラム・マネジメントの充実</p> <p>カリキュラム・マネジメントの進め方</p>
履修認定試験問題等	本講習において習得した内容を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 論理（論理的かつ読みやすく記述されているか）</li> <li>2. 理解（本講習の内容を踏まえ、自身の理解が示されているか）</li> <li>3. 実践展望（実践的への展望が明瞭か）</li> </ol>
担当講師	樋口 とみ子（教職キャリア高度化センター教授（現職））
開催日	2021年 8月 19日（木） 14：00～17：00
講習時間数	6時間（Web配信ビデオコンテンツ視聴・学習作業を含む）
定員	50名
学校種	幼,小,中,高,特支
免許職種、教科等	特定しない
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 特になし</p> <p>注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。</p> <p>その他： 特になし</p>

【選択必修領域講習】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習の名称	いじめ防止と事後対応
講習の概要	<p>本講習では、いじめをはじめとした生徒指導上の課題の現状について取り上げ、事例を通してその理解と対応について検討を行う。さらに、コーチングの理論と方法について学び、ロールプレイを通して実践力を高める。</p> <p>※本講習は、講習中に受講者同士のグループワークを行います。</p>
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの生徒指導にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間45分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	<p>1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか）</p> <p>2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか）</p> <p>3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</p>
担当講師	片山 紀子（大学院連合教職実践研究科教授（現職））
開催日	2021年 8月 20日（金） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	20名
学校種	小,中,高,特支
免許職種、教科等	教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 特になし</p> <p>注意事項： 特になし</p> <p>その他： 特になし</p>

## 【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：算数・数学

講習の名称	反転研修 主体的・対話的で深い学びを実現する算数科授業のあり方
講習の概要	<p>本学で作成している「先生を究めるWeb動画」を視聴し（視聴すべき2本の動画はこちらで指定）、7月28日（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。また、対面授業では、視聴した内容を基にテーマを設定し、自身の学校現場での実践を照らし合わせたアクティブ・ラーニングで課題解決の方法を考える。</p> <p>前半は、アクティブ・ラーニングを取り入れた算数科授業のあり方について学習します。後半は、それをもとに実際の算数科指導案を作成し、2学期以降の授業づくりに役立てます。</p> <p>※本講習は、講習中に受講者同士のグループワークを行います。</p>
視聴すべき2本の動画	<p>算数科学習指導要領の要点</p> <p>算数・数学授業におけるアクティブラーニング</p>
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの算数授業づくりにどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	<p>1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか）</p> <p>2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか）</p> <p>3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</p>
担当講師	黒田 恭史（教育学部教授（現職））
開催日	2021年8月10日（火） 9：30～12：30
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	50名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・特別支援学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 担当学年の算数科の教科書、指導書 本年度、担当学年がない場合は、持参していただくなくてもかまいません。</p> <p>注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。</p> <p>その他： 特になし</p>

## 【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：算数・数学

講習の名称	反転研修 パワーポイントを用いた授業で使える「プチ」算数動画コンテンツ制作
講習の概要	本学で作成している「先生を究めるWeb動画」を視聴し（視聴すべき2本の動画はこちらで指定）、7月28日（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。また、対面授業では、視聴した内容を基にテーマを設定し、自身の学校現場での実践を照らし合わせたアクティブ・ラーニングで課題解決の方法を考える。 前半は、算数動画コンテンツ制作の教育的意義と動画コンテンツ制作方法について学習します。後半は、パワーポイントを用いた授業で使える「プチ」算数動画コンテンツを制作・交流します。
視聴すべき2本の動画	算数動画コンテンツ制作講座① 算数動画コンテンツ制作講座②
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの算数動画コンテンツ制作にどのように活かそうと思いますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	黒田 恭史（教育学部教授（現職））
開催日	2021年 8月 10日（木） 14：00～17：00
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	30名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・特別支援学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 担当学年の算数科の教科書、指導書 本年度、担当学年がない場合は、持参していただくなくてもかまいません。 ※作成した教材を持ち帰りたい方はUSBメモリを持参してください</p> <p>注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。</p> <p>その他： 特になし</p>

## 【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：技術

講習の名称	反転研修 中学校技術科における主体的・対話的で深い学びにつながる授業実践
講習の概要	<p>本講習では、技術科の問題解決的な学習指導について実践事例をもとに講義・演習を行う。最初に、本学が指定する「先生を究めるWeb動画」を2本視聴し、7/28（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを提出する。対面授業では、問題解決的な学習の理論及びアクティブ・ラーニングの捉え方について実践事例を紹介する。小中高連携の観点から小学校・高等学校（農業・工業）教諭も対象とする。</p> <p>※本講習は、講習中に受講者同士のグループワークを行います。</p>
視聴すべき2本の動画	<p>技術科教育とは</p> <p>技術科における教材とは</p>
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	<p>1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか）</p> <p>2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか）</p> <p>3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</p>
担当講師	原田 信一（教育学部教授（現職））
開催日	2021年8月10日（火） 9：30～12：30
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	20名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校（技術）・高等学校（農業・工業）・特別支援学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 （持っていない場合、スマートフォンやipad等にダウンロードして持参も可）</p> <p>注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。</p> <p>その他： 特になし</p>

## 【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：指導・評価

講習の名称	反転研修 先生を育てるメンターシップ育成講座ー省察力・コーチング力・ファシリテーションカー
講習の概要	<p>本学が指定する「先生を究めるWeb動画」を2本視聴し、7/28（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。また、対面授業では、視聴した内容を基にテーマを設定し、自身の学校現場での実践を照らし合わせたアクティブ・ラーニングで課題解決の方法を考える。「教員は学校で育つ」ー経験から学ぶOJTを有効なものにするメンターシップを育成するために「省察力」「コーチング力」「ファシリテーション力」を体験的に学びます。初任者研修指導やメンターに興味のある方に受講をすすめます。</p> <p>※本講習は、講習中に受講者同士のグループワークを行います。</p>
視聴すべき2本の動画	<p>メンターシップ育成プログラムー理論編1ー</p> <p>メンターシップ育成プログラムー理論編2ー</p>
履修認定試験問題等	講座の省察課題（ルーブリック）及びレポート作成
評価方法	Web講座の視聴およびそのレポート 受講の状況及び省察課題（ルーブリック）及びレポート
評価の観点等	メンターシップに対する経験的理解が出来ているか
担当講師	村上 忠幸（教育学部教授（現職））
開催日	2021年 8月 10日（火） 14：00～17：00
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	25名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 筆記用具</p> <p>注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。</p> <p>その他： 特になし</p>

## 【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：社会

講習の名称	社会科の授業をつくる ー地図、映像、統計を用いて深い学びを実現するー
講習の概要	<p>社会科において、深い学びを実現するためにはどのような地図・資料等を探し出し、活用すればよいかを実践的にアドバイスする。授業では講師が推薦する地図や映像（史料）、統計等を紹介するとともに、それらを活用して知的好奇心をくすぐる授業の作り方を、作業的・体験的に学べるようにする。最後に、資料活用の実践力をつけることと、社会的な見方・考え方や新教育課程が目指す資質・能力の育成との関わりについて検討する。</p> <p>※本講習は、講習中に受講者同士のグループワークを行います。</p>
履修認定試験問題等	本講習において示された資料（地図・映像・統計）の使い方を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか）</li> <li>2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか）</li> <li>3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</li> </ol>
担当講師	<p>山下 宏文（教育学部教授（現職））</p> <p>香川 貴志（教育学部教授（現職））</p> <p>中村 翼（教育学部講師（現職））</p>
開催日	2021年8月10日（火） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	25名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校（社会）教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 筆記具</p> <p>注意事項： 事前に「もののけ姫」のアニメーション映画をDVD等で視聴しておくことが望ましい。</p> <p>その他： 特になし</p>

## 【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：理科

講習の名称	授業に生かせる理科の考え方と技術
講習の概要	<p>理科の分野で物理と化学についての話題を提示し、解説等を行った後、質疑応答を行う。また学校教育に関連する実験的な内容について簡単な実験、演習を行って、その内容についての検討を全員で行う。</p> <p>物理分野： 霧箱や半導体検出器の組み立てに関連する物理について簡単に解説する。また関連するICT教育的な内容をラズパイやarduinoを使って演習する。</p> <p>化学分野： 機器を用いた化学分析を題材に取り上げる。分析項目の意味と機器分析の原理を簡単な実験を通して解説する。化学分析を理科の実験に取り入れる方策についても考察する。</p> <p>※本講習は、講習中に受講者同士のグループワークを行います。</p>
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか）</li> <li>2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか）</li> <li>3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</li> </ol>
担当講師	<p>高嶋 隆一（教育学部教授（現職））</p> <p>向井 浩（教育学部教授（現職））</p>
開催日	2021年 8月 10日（火） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	24名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校（理科）・高等学校（理科）教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 筆記具。持っている場合はモバイルPC、なくてもかまいません。Arduino IDEをインストールしてある場合はそれを使用することもあります。（物理分野）</p> <p>注意事項： 特になし</p> <p>その他： 特になし</p>

## 【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：特別支援

講習の名称	反転研修 発達障害の疑われる子どもの見立てについて
講習の概要	発達障害が疑われる幼児児童を支援するための理解の仕方について、本学が指定する「先生を究めるWeb動画」を2本視聴し、7/28（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。その後、レポート内容と受講者の興味や実践からテーマを設定し、アクティブ・ラーニングを通して発達障害の幼児児童の理解と支援について洞察を深め、実践に資する課題解決法について検討する。
視聴すべき2本の動画	特別な支援を要する児童の理解の仕方について 発達障害児の気づきと支援—幼児期編—
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか） 3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）
担当講師	小谷 裕実（教育学部教授（現職）） 佐藤 克敏（教育学部教授（現職））
開催日	2021年8月11日（水） 9：30～12：30
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	20名
履修認定対象職種	教諭、養護教諭
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 筆記用具</p> <p>注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。</p> <p>その他： 特になし</p>

## 【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：特別支援

講習の名称	反転研修 特別な教育ニーズのある子どもの理解と支援
講習の概要	<p>自閉スペクトラム症、注意欠如多動症などの集団適応の難しい子どもたちの認知・非認知的側面の特性の理解と支援、及び学校生活の中での宿題のあり方などを通じた合理的配慮について考える。対面講習の前に、本学が指定する「先生を究めるWeb動画」を2本視聴し、7/28（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。</p> <p>特別支援教育や合理的配慮への関心は一層高まってきています。新しい学習指導要領においても幼児期・学齢期の各ライフステージにおける「発達の支援」が加えられました。障害の有無に関わらず、一人ひとりが過ごしやすい社会を実現することについて、具体的課題を通して一緒に考えましょう。</p> <p>※本講習は、講習中に受講者同士のグループワークを行います。</p>
視聴すべき2本の動画	<p>集団適応が苦手な子どもの理解と支援</p> <p>特別支援教育と合理的配慮～宿題から考える～</p>
履修認定試験問題等	「本講習において習得した特別支援教育に関する知識を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。」
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	<p>1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか）</p> <p>2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか）</p> <p>3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</p>
担当講師	<p>相澤 雅文（総合教育臨床センター教授（現職））</p> <p>丸山 啓史（教育学部准教授（現職））</p>
開催日	2021年8月11日（水） 14：00～17：00
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	20名
履修認定対象職種	教諭、養護教諭
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 筆記用具</p> <p>注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。</p> <p>その他： なし</p>

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：指導・評価

講習の名称	反転研修 教師の成長について考えるA
講習の概要	<p>本学が指定する「先生を究めるWeb動画」を2本視聴し、7/28(水)までに、1本当たり200~300字で視聴した内容の要点レポートを作成し、提出して戴きます。対面授業では、教師の成長につながる困難課題への対応を省察する観点から、ご自身の学校現場での実践と照らし合わせた学習を行い、課題解決の方法を考えます。状況に応じた形式にはなりますが、ご自身の実践の振り返りや意見交換の機会は設けたいと思います。</p> <p>※『反転研修 教師の成長について考えるB』とは同内容ですので、両講座申込みする事はできません。</p>
視聴すべき2本の動画	<p>教師の成長</p> <p>教師が成長するために</p>
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験(記述式)を行います。
評価の観点等	<p>1.論理(論理的かつ読みやすく記述されているか)</p> <p>2.理解・思考(本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか)</p> <p>3.実践意欲・展望(実践的な意欲や態度が明瞭か)</p>
担当講師	高柳 真人(教職キャリア高度化センター教授(現職))
開催日	2021年8月11日(水) 9:30~12:30
講習時間数	6時間(自宅等での3時間のWeb講習+大学での3時間の対面講習)
定員	25名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物：なし</p> <p>注意事項：反転研修については、募集要項(P5.反転研修について参照)および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。</p> <p>その他：『反転研修 教師の成長について考えるA』と『反転研修 教師の成長について考えるB』は同一内容です。</p>

## 【選択領域講習】 受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：指導・評価

講習の名称	反転研修 教師の成長について考えるB
講習の概要	<p>本学が指定する「先生を究めるWeb動画」を2本視聴し、7/28(水)までに、1本当たり200~300字で視聴した内容の要点レポートを作成し、提出して戴きます。対面授業では、教師の成長につながる困難課題への対応を省察する観点から、ご自身の学校現場での実践と照らし合わせた学習を行い、課題解決の方法を考えます。状況に応じた形式にはなりますが、ご自身の実践の振り返りや意見交換の機会は設けたいと思います。</p> <p>※『反転研修 教師の成長について考えるA』とは同内容ですので、両講座申込みする事はできません。</p>
視聴すべき2本の動画	<p>教師の成長</p> <p>教師が成長するために</p>
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験(記述式)を行います。
評価の観点等	<p>1.論理(論理的かつ読みやすく記述されているか)</p> <p>2.理解・思考(本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか)</p> <p>3.実践意欲・展望(実践的な意欲や態度が明瞭か)</p>
担当講師	高柳 真人(教職キャリア高度化センター教授(現職))
開催日	2021年8月11日(水) 14:00~17:00
講習時間数	6時間(自宅等での3時間のWeb講習+大学での3時間の対面講習)
定員	25名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物：なし</p> <p>注意事項：反転研修については、募集要項(P5.反転研修について参照)および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。</p> <p>その他：『反転研修 教師の成長について考えるA』と『反転研修 教師の成長について考えるB』は同一内容です。</p>

## 【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：国語

講習の名称	反転研修 主体的・対話的で深い学びを導く国語科授業づくり
講習の概要	<p>本講習では、国語科における主体的・対話的授業について、具体的な授業案を詩教材を使って提案するとともに、国語科の新しい学習指導要領の実践に向けて、専門的な知識などを講義する。本学が指定する「先生を究めるWeb動画」を2本視聴し、7/28（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。次に、対面授業では、視聴した内容を基にテーマを設定し、自身の学校現場での実践を照らし合わせたアクティブ・ラーニングで課題解決の方法を考える。</p> <p>※本講習は、講習中に受講者同士のグループワークを行います。</p>
視聴すべき2本の動画	<p>国語科における新しい学習指導要領の実現に向けて</p> <p>子どもの解釈を引き出す詩の授業ー主体的・対話的で深い学びのためにー</p>
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	<p>1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか）</p> <p>2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか）</p> <p>3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</p>
担当講師	<p>天野 知幸（教育学部准教授（現職））</p> <p>植山 俊宏（教育学部教授（現職））</p>
開催日	2021年8月11日（水） 14：00～17：00
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	45名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校（国語）・高等学校（国語）教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 筆記用具</p> <p>注意事項： 反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。</p> <p>その他： 特になし</p>

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：英語

講習の名称	反転研修 新学習指導要領における中学校高校外国語（英語）の指導と評価
講習の概要	<p>「先生を究めるWeb動画」のうち、新学習指導要領における外国語（英語）の指導と評価—中学校編—と—高校編—にもとづき、学習指導要領改訂の基本方針と新学習指導要領のポイントを説明する。受講生は、7月28日（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。対面講習では、小中連携・4技能5領域の指導と評価（以上、中学校編）、第二言語習得理論からの示唆・4技能5領域の統合的な指導（以上、高校編）について、ワークショップ形式で演習を行う。</p> <p>本講習は、講習中に受講者同士のペアワーク・グループワーク等を行います。</p>
視聴すべき2本の動画	<p>新学習指導要領における中学校高校外国語（英語）の指導と評価—中学校編—</p> <p>新学習指導要領における中学校高校外国語（英語）の指導と評価—高校編—</p>
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。持ち込み不可。
評価の観点等	<p>1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか）</p> <p>2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか）</p> <p>3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</p>
担当講師	西本 有逸（教育学部教授（現職））
開催日	2021年8月11日（水） 14：00～17：00
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	25名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	中学校（英語）・高等学校（英語）教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物：英和辞書</p> <p>注意事項：反転研修については、募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。</p> <p>その他：特になし</p>

## 【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：教育

講習の名称	ICT教育－映像教材の作り方
講習の概要	本講習では、ICT教育として映像教材の作り方を学習します。端末室でパソコンを用い、映像素材の調べ方および動画編集ソフトの使い方について演習を行います。動画編集ソフトはウェブ上で簡単に操作ができる初心者向けのソフトを使用し、受講生同士グループとなり、ソフトの使い方をマスターしていきます。なお、本学で制作された映像教材も紹介します。最後に簡単な作品を作成し、ICT教育への活用方法について話し合います。
履修認定試験問題等	本講習を通して習得した知識と技術をこれからの教育実践（特にICT教育）にどのように活かそうと思いますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか） 2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、自身の理解や把握が示されているか） 3.教育実践への活用方法（教科とICT教育への活用方法が明記されているか） 4.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭であるか）
担当講師	権 眞煥（教育学部講師（現職））
開催日	2021年 8月 11日（水） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	30名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 作成した教材を持ち帰りたい方はUSBメモリを持参してください</p> <p>注意事項： 特になし</p> <p>その他： 特になし</p>

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：美術・図画工作

講習の名称	基礎デザイン講座
講習の概要	デザインは生活営為に密接に結びついている。ここでは、日常のなかに美を発見、抽出したものを、結合、提示するために必要不可欠な造形の基礎演習「色彩構成」「立体構成」を中心に講習を展開する。
履修認定試験問題等	基礎的な造形力を問う実技課題
評価方法	実技試験
評価の観点等	発想から定着までの経緯と作品評価
担当講師	安江 勉（教育学部教授（現職））
開催日	2021年 8月 18日（水） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	25名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校（美術）・高等学校（美術）教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 60cm位の直定規、コンパス、ハサミ、カッター、スティックのり、両面テープ、筆記用具、日本色研事業トータルカラー93色（B5判）</p> <p>注意事項： 汚れてもよい服装を着てきてください。</p> <p>その他： 特になし</p>

## 【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：理科

講習の名称	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための理科の探究学習
講習の概要	<p>アクティブ・ラーニングの視点である「主体的・対話的で深い学び」を理解するために、理科発の汎用的スキルを体験的に学びます。マルチプル・インテリジェンス法によるグルーピング、協働的で自由度の高い探究学習、支援のためのコーチング、省察の方法について学び、アクティブ・ラーニングによる深い学びに迫ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい時代の教師力</li> <li>・マルチプルインテリジェンスを活用したグルーピング</li> </ul> <p>以下グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究学習①</li> <li>・コーチング</li> <li>・探究学習②</li> <li>・探究学習③</li> <li>・省察（デボノの帽子）</li> </ul> <p>※昨年度に『「主体的・対話的で深い学び」を実現するための理科の授業づくり』の講座を受講された方は、同内容のため受講することはできません。</p>
履修認定試験問題等	本講習で学んだ探究学習の実践と理論について、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか）</li> <li>2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか）</li> <li>3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</li> </ol>
担当講師	村上 忠幸（教育学部教授（現職））
開催日	2021年8月18日（水） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	32名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校（理科）・高等学校（理科）教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 筆記用具、ノート（ポートフォリオ用に1冊）、カメラ（探究学習の記録用、スマホでもよい）、容器1個（自宅にあるものなんでもよい）</p> <p>注意事項： 活動しやすい服装で来てください。</p> <p>その他： 特になし。</p>

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：保健体育

講習の名称	反転研修 これからの体育授業を考える
講習の概要	<p>本学が指定する「先生を究めるWeb動画」を2本視聴し、7/28（水）までに1本当たり200～300字で視聴した内容の要点レポートを作成し提出する。また、対面授業では、視聴した内容を基にテーマを設定し、自身の学校現場での実践を照らし合わせたアクティブ・ラーニングで課題解決の方法を考える（視聴した動画に関する質疑応答を含む）。</p> <p>※本講習は、講習中に受講者同士のグループワークを行います。</p>
視聴すべき2本の動画	<p>体育の授業づくりと運動教材の考え方</p> <p>体育の授業で活用できる運動教材の実際</p>
履修認定試験問題等	この講習において学習したことで、今後活用していきたいと思うことについて、自身の授業実践を振り返りながら述べてください。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	<p>1.講習内容の理解（本講習で示した内容や考え方などを理解しているか）</p> <p>2.反省的思考（自身の授業実践を振り返りながら今後の見通しを立てているか）</p> <p>3.授業改善への意欲（これからも授業改善に取り組もうとしているか）</p>
担当講師	小松崎 敏（教育学部准教授（現職））
開催日	2021年 8月 19日（木） 9：30～12：30
講習時間数	6時間（自宅等での3時間のWeb講習＋大学での3時間の対面講習）
定員	40名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校（保健体育）・高等学校（保健体育）・特別支援学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 特になし</p> <p>注意事項： 募集要項（P5.反転研修について参照）および本申込後に大学から送付する反転研修の通知文書を必ず確認し、所定の方法・様式でレポートを提出すること。</p> <p>その他： 特になし</p>

## 【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：音楽

講習の名称	小学校音楽科授業の視野を広げよう—さまざまな体験を通して
講習の概要	<p>1. 鑑賞：各学年の鑑賞教材を分析し楽曲に関する知識や他の鑑賞教材の可能性についても視野を広げる。2. 歌唱：コロナ禍中での授業の一つの提案としてハミングのメリットを生かした表現活動の可能性を探る。3. 器楽：教育楽器の取り扱いを再確認すると共に珍しい楽器の体験を通して音楽教育の視野を広げる。4. 音づくり：インド音楽を手がかりとして、音楽室の楽器を用いて生徒全員が楽しく参加できる即興演奏活動を提案する。</p> <p>※本講習は、内容に応じて講習中に受講者同士のグループワークを行います。</p>
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	<p>1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか）                  2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか）                  3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</p>
担当講師	田邊 織恵（教育学部准教授（現職）） 小笠原 真也（教育学部教授（現職）） 山口 博明（教育学部教授（現職）） 田中 多佳子（教育学部教授（現職））
開催日	2021年8月19日（木） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	20名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： ソプラノリコーダーを持参ください</p> <p>注意事項： 特になし</p> <p>その他： 特になし</p>

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：書道

講習の名称	書道実技講座 書写・書道を扱う仮名文字の研究
講習の概要	小中学校国語科書写における仮名文字である、楷書に調和する平仮名・行書に調和する平仮名を理解し、毛筆で書く。また、高等学校芸術科書道における仮名の書の基礎基本を理解し、毛筆で書く。
履修認定試験問題等	仮名古筆（蓬莱切）の原寸大臨書
評価方法	講習時間内に課題を提出
評価の観点等	小中学校国語科書写・高等学校芸術科書道で扱う仮名文字を理解すると共に、毛筆でそれらの文字を表現することができるか。
担当講師	岡田 直樹（教育学部教授（現職））
開催日	2021年 8月 19日（木） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	60名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校（国語）・高等学校（書道）教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物：小筆（仮名の原寸大臨書が可能なもの）、固形墨、硯（墨が磨れるもの）、半紙（にじみが少ないもの）、下敷き 等毛筆書道が可能な用具・用材</p> <p>注意事項：特になし</p> <p>その他：特になし</p>

## 【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：教育

講習の名称	子ども、保護者、同僚と信頼関係を築くためのアサーション トレーニング
講習の概要	<p>教育活動を進めていく上で、子ども、保護者、同僚と信頼関係を築くことは不可欠である。本講習では、「自他尊重」「さわやか自己表現」をテーマとするアサーション トレーニングの理念、手法を学ぶ中で、子ども、保護者、同僚と信頼関係を築くためのコミュニケーションについての理解を深めるとともに、実践的なコミュニケーション方法を習得する。講習はグループワークを中心に進める。</p> <p>1. アサーション とは アサーションという概念の定義、歴史的な背景を学ぶ。さらに、アサーション の基本である3つの話し方の違いについて学ぶ。</p> <p>2. もののとらえ方とアサーション コミュニケーションの背景にももののとらえ方が関係していることを学ぶ。さらに、自らのもののとらえ方の傾向について学ぶ。</p> <p>3. 言語的なアサーション 言語的なアサーションを習得することを目的として、アサーションに基づくセリフづくりの方法のひとつであるDESC法を学ぶ。</p>
履修認定試験問題等	本講習において習得した知識と技術を、これからの教育実践にどのように活かそうと思えますか。
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	<p>1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか）</p> <p>2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか）</p> <p>3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</p>
担当講師	安達 知郎（大学院連合教職実践研究科准教授(現職)）
開催日	2021年 8月 20日（金） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	50名
履修認定対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 特になし</p> <p>注意事項： 特になし</p> <p>その他： 特になし</p>

【選択領域講習】受講者が任意に選択して受講する領域

専門科目検索分類：社会

講習の名称	新聞活用入門講座
講習の概要	<p>新聞（記事）を活用して、情報を読み解きながら、考え、伝えあうという学習スタイルは、主体的・対話的で深い学びを実現するのに最適な学習方法である。本講座では、これから新聞活用（新聞を読む・新聞を知る・新聞を作る）に取り組んでみようと考えている先生方に、新聞活用の意義や教科での活用方法などについて、講義とワークショップを通して理解していただきたい。また新聞記者を招いてお話しいただくことも予定している。</p> <p>※本講習は、講習中に受講者同士のグループワークを行う予定です。</p>
履修認定試験問題等	（例）「この講習の中で示された内容を、あなたのこれからの授業実践にどのように活かせると思いますか、校種や担当学年などをふまえて具体的に述べてください。」
評価方法	終了時に試験時間30分程度の試験（記述式）を行います。
評価の観点等	<p>1.論理（論理的かつ読みやすく記述されているか）</p> <p>2.理解・思考（本講習の内容を踏まえ、かつ自身の理解や把握が示されているか）</p> <p>3.実践意欲・展望（実践的な意欲や態度が明瞭か）</p>
担当講師	平石 隆敏（教育学部教授（現職）） 神崎 友子（京都教育大学附属桃山中学校教諭（現職））
開催日	2021年 8月 20日（金） 9：30～17：30
講習時間数	6時間
定員	40名
履修認定対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校・中学校教諭
会場	京都教育大学 藤森キャンパス
講習料	6,000円
備考	<p>持ち物： 特になし</p> <p>注意事項： 特になし</p> <p>その他： 特になし</p>